

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	柔道整復科	夜・通信	17 単位	10 単位	
	鍼灸科	夜・通信	15 単位	9 単位	
	理学療法科	夜・通信	13 単位	13 単位	
	診療放射線科	夜・通信	17 単位	10 単位	
	看護科	夜・通信	11 単位	10 単位	
	歯科衛生科	夜・通信	10 単位	10 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ： https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページの「理事会名簿」において公表する。
URL： <https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市議会議員	2026.4.1 ~ 2027.3.31	適切な法務が運用されているかを管理する役割が期待される。
非常勤	元高等学校 校長	2026.4.1 ~ 2027.3.31	学校教育全般に係る指導管理についての役割が期待される。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教育課程編成委員会等にてカリキュラムの内容、到達目標等についての見直しを行う。それを踏まえ担当教員を中心に授業計画書を作成する。4月頃に授業計画書を学生に配布し、同時期に学校ホームページ上で公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。本校での授業科目は各学科の養成所指定(認定)規則により、免除される科目以外はすべて必修であり、当該学科・学年における履修科目に大きな差はない。そのため成績の分布については受講科目の点数を平均して順位を算出し、クラス内の相対的習熟度(順位)を把握し、指導を実施している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則第 21 条において、学則第 10 条（成績評価）に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。また所定の修業年限以上に在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。この内容については、ホームページで公開している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
財産目録	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
事業報告書	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
監事による監査報告（書）	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	102単位	65単位	13単位	4単位	0単位	20単位
			102単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
270人		227人	0人	14人	30人	44人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにお

ける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）												
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他									
34人 (100%)	11人 (32.4%)	23人 (67.6%)	0人 (0%)									
(主な就職、業界等) アクロ整骨院、ありむら整骨院、エミライズ新宮整骨院、おおばやし整形外科形成外科クリニック、くすの樹接骨院、くまもと整骨院、こころ整骨院、佐々木整骨院、サンライズ鍼灸整骨院、ゼロスポ鍼灸・整骨院、禅院整骨院、ダブル鍼灸整骨院、ななほし接骨院、福岡医療専門学校、福岡スポーツクリニック、ベースボール整骨院、マーサ鍼灸整骨院イオンモール福岡、まつもと整形外科クリニック、りきたけ整骨院、リハビリTORICO、TORQUE 整骨院												
(就職指導内容) 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。												
(主な学修成果（資格・検定等）) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柔道整復師国家試験</td> <td>35人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>JATI-ATI</td> <td>23人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	受験者数	合格者数	柔道整復師国家試験	35人	34人	JATI-ATI	23人	18人
資格・検定名	受験者数	合格者数										
柔道整復師国家試験	35人	34人										
JATI-ATI	23人	18人										
(備考) (任意記載事項)												

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
183人	13人	7.1%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	鍼灸科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

3年	昼	95単位	75単位	0単位	4単位	0単位	16単位
			95単位				
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	171人	0人	10人	18人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	2人 (5.9%)	30人 (88.2%)	2人 (5.9%)
（主な就職、業界等） 飯島整形外科、甲斐整骨院、介正鍼灸整骨院、株式会社トリプルクラウン、株式会社リーフ、株式会社F-nine、銀座ハリッチ、さんり整骨院・はりきゅう院、城南スポーツ整骨院鍼灸マッサージ院、鍼灸接骨院はまなす、タケダスポーツ・ビューティークリニック、田中はり灸療院、たんぼぼ鍼灸整骨院、福岡脱毛サロン milfi、別府はり灸院、みよし整骨鍼灸院、めぐみ鍼灸院、モアはりきゅう整骨院、ゆたか整骨院、SOULBODY、V・ファーレン長崎			
（就職指導内容） 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			

(主な学修成果 (資格・検定等))		
資格・検定名	受験者数	合格者数
はり師国家試験	34人	33人
きゅう師国家試験	34人	33人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
144人	6人	4.2%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	理学療法科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	124単位	90単位	8単位	22単位	0単位	4単位
			124単位				
学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	243人	0人	10人	18人	28人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料(定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等)に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。

学修支援等
(概要) クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
45人 (100%)	0人 (0%)	45人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 秋山クリニック、あさのひりハビリテーション、足立慶友整形外科、一ノ宮脳神経外科病院、伊藤整形外科リウマチ医院、介護老人保健施設ひのき、グッドサイクルシステム、黒田整形外科医院、堺整形外科医院福岡スポーツクリニック西都、桜十字大手門病院、ささぐり整形外科スポーツ・リハビリクリニック、真田整形外科リハビリ科、誠愛リハビリテーション病院、整形外科スポーツ・栄養クリニック福岡、タケダスポーツ・ビューティークリニック、田中整形外科、筑紫南ヶ丘病院、千代田病院、徳之島徳洲会病院、鳥飼病院、博愛会病院、白十字病院、花畑病院、原鶴温泉病院、原土井病院、福岡県済生会飯塚嘉穂病院、福岡スポーツ栄養クリニック、福岡大学西新病院、福岡ハートネット病院、まえだ整形外科博多ひざスポーツクリニック、南川整形外科病院、牟田病院、宗像水光会総合病院、むらた整形外科、諸岡整形外科クリニック、八代敬仁病院、横浜新都市脳神経外科病院			
(就職指導内容) 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
	資格・検定名	受験者数	合格者数
	理学療法士国家試験	46人	45人
	JATI-ATI	21人	18人
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
219人	18人	8.2%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。		

複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	診療放射線科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	102単位	70単位	14単位	12単位	5単位	1単位
			102単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		218人	0人	12人	17人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	2人 (6.1%)	31人 (93.9%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 諫早総合病院、宇佐高田医師会病院、大手町病院、大浜第一病院、おんが病院、唐津病院、きむら内科・脳神経クリニック、国立病院機構大牟田病院、国立病院機構九州医療センター、国立病院機構佐賀病院、国立病院機構敦賀医療センター、周南記念病院、水北第一病院、田川市立病院、地域医療機能推進機構九州病院、町立太良病院、徳山中央			

病院、戸畑共立病院、鳥飼病院、長崎健康事業団、長田病院、西尾病院、西田病院、延岡共立病院、福岡医療団千鳥橋病院、福岡和白病院、プライムホスピタル玉島、牧野記念病院

(就職指導内容)

就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。

(主な学修成果(資格・検定等))

資格・検定名	受験者数	合格者数
診療放射線技師 国家試験	34人	31人

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
216人	32人	14.8%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	103単位	79単位	0単位	23単位	0単位	1単位
			103単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		155人	0人	14人	50人	64人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料(定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等)に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨地実習及び体育実技の成績についても同様とする。	

卒業・進級の認定基準
(概要) 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
(概要) クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
53人 (100%)	0人 (0%)	51人 (96.2%)	2人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 大牟田天領病院、沖縄共同病院、小郡第一総合病院、柏厚生総合病院、けいゆう病院、光晴会病院、済生会唐津病院、榊原記念財団附属榊原記念病院、総合東京病院、高槻赤十字病院、東京西徳洲会病院、同仁病院、新座志木中央総合病院、西福岡病院、のぞえ総合心療病院、白十字病院、福岡記念病院、福岡大学筑紫病院、福岡徳洲会病院、福岡ハートネット病院、福西会病院、牟田病院、村上華林堂病院、諸岡整形外科病院、八尾徳洲会総合病院、友愛医療センター、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立大学附属病院、TMGあさか医療センター、戸田中央総合病院			
(就職指導内容) 就職支援室を設置し、担当の副校長、学科長を中心とした就職支援・指導を実施しているセミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
資格・検定名	受験者数	合格者数	
看護師国家試験	55人	53人	
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

175 人	29 人	16.6%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位	72 単位	0 単位	20 単位	0 単位	1 単位
			93 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		99 人	0 人	10 人	38 人	47 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨地実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) あんざい歯科ベイフロントクリニック、かのう歯科医院、クロスケアデンタルクリニック、たくみ歯科医院、つきやま歯科・矯正歯科、天神ホワイト歯科クリニック、にい歯科・矯正歯科、新田歯科、のぞみ歯科香椎浜、はかたの森歯科こども歯科、樋口矯正歯科クリニック、福岡 MD デンタルオフィス西新、松永歯科クリニック、南区にじいろ歯科、望月歯科医院、よしおか歯科こども歯科 SHO DENTAL Salon			
(就職指導内容) 就職支援室を設置し、担当の副校長、学科長を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
資格・検定名		受験者数	合格者数
歯科衛生士国家試験		18人	18人
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83人	9人	10.8%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
柔道整復科	20万円	80万円	60万円	
鍼灸科	20万円	80万円	60万円	
理学療法科	20万円	50万円	70万円	
診療放射線科	20万円	80万円	70万円	
看護科	20万円	80万円	70万円	
歯科衛生科	20万円	60万円	42万円	
修学支援(任意記載事項)				



b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・自己評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行う。学校関係者評価委員会を設置し、年1回以上委員会を開催する。評価委員会は、学校運営の改善を目的としており、企業等の役員又は職員、地域住民、業界等の代表7名で構成される。また委員会では、自己点検・自己評価に基づき、教育理念、学校運営、学修成果等について評価をして頂く。その評価については、理事長、事務長、副校長、学科長等で共有し、毎月実施される教職員会議において全教職員に周知させ、理事長を中心に学校運営の改善に努める。評価内容は報告書にまとめ、ホームページ上で公開する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
山本祐司・亮司法書士行政書士事務所	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	地域住民
福岡医療専門学校 非常勤講師	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	有識者
(株) 堺整骨院西 代表取締役	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	卒業生(4期生)
株式会社 INTERACTION 代表取締役	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
医療法人西福岡病院 放射線科 科長	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
鍼灸整体院サロン MiN 代表	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	卒業生(14期生)
元(株) 医療法人フォールディング ススターホーム スーパーバイザー	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日(1年)	企業等委員
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ： https://www.jusei.ac.jp/ 学校案内 募集要項
--